

令和7年度「行きたい学校づくり」推進事業 探究学習推進  
沼駿地区探究学習研究協議会 合同発表会

日 時 令和7年11月20日(木) 午後1時30分から3時05分まで  
場 所 静岡県立沼津西高等学校 会議室

次 第

---

- 1 拠点校校長挨拶 静岡県立沼津西高等学校長 鈴木康之 13:30～
- 2 拠点校の説明等 13:35～
- 3 各校中間報告 13:40～  
(1) 沼津西高等学校  
(2) 御殿場高等学校  
(3) 御殿場南高等学校  
(4) 小山高等学校  
(5) 裾野高等学校  
(6) 沼津東高等学校  
(7) 沼津城北高等学校  
(8) 沼津工業高等学校  
(9) 沼津商業高等学校  
(10) 市立沼津高等学校
- 4 諸連絡、休憩、移動 15:00～  
(1) アンケートについて  
ア 各校中間発表へのフィードバック イ ポスターセッションと静岡県経済産業部高校生職業体験講座



ウ 令和8年度合同発表会日程調整 (11/27木まで)



(2) その他

第3回探究研究協議会 令和8年2月2日(月) 13:30～16:40

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告 拠点校：沼津西高等学校

**【事業進捗総括】テーマ：探究学習推進（沼駿地区）**

<b>取組</b>	◆令和6年度 1年目【研究】：沼駿探究コンソーシアム構築に向けて先進地域視察、連携校との情報共有、等 ◆令和7年度 2年目【試行】：沼駿地区コンソーシアム構築のための体制づくり、連携校との合同発表会、等
<b>成果</b>	◆共通指標は、初期値に比べて令和6年度末実績は①は73.4%から82.3%、②は92.6%から93.1%に上昇 ◆個別の成果指標の探究スキルは、同様に、1年生56.2%から68.1%、2年生63.1%から77.7%に上昇

<b>【主なコンソーシアム構成員】 (連携校以外)</b>	<b>【取組の具体的な内容】</b>										
<table border="1"> <tr> <td>産業能率大学</td> <td>沼津市、裾野市、御殿場市役所（予定）</td> </tr> <tr> <td>株)イノベスト</td> <td>清水町、小山町、長泉町役場（予定）</td> </tr> <tr> <td>県社会教育課 (依頼中)</td> <td>沼津商工会議所 (依頼中)</td> </tr> <tr> <td>社会教育課 (依頼中)</td> <td>東北芸術工科大学 (予定)</td> </tr> <tr> <td>東部地域局 (依頼中)</td> <td>国立音楽大学 (予定)</td> </tr> </table>	産業能率大学	沼津市、裾野市、御殿場市役所（予定）	株)イノベスト	清水町、小山町、長泉町役場（予定）	県社会教育課 (依頼中)	沼津商工会議所 (依頼中)	社会教育課 (依頼中)	東北芸術工科大学 (予定)	東部地域局 (依頼中)	国立音楽大学 (予定)	<p><b>&lt;概要&gt;</b> アドバイザーの助言により、全国的に成功しているコンソーシアムを視察した。山形県の新庄最上・ジモト大学コンソーシアムと島根県の浜田教育魅力化コンソーシアムである。本地区では、地域人材の有効活用及び地域に貢献できる人材の育成等のねらいを具現化するために、まずは、本地区の高校生が夏休み等に参加できる地域の探究体験講座や合同発表会等が開催ができるコンソーシアムの構築に向けて、連携校を巻き込んで取り組んでいる。</p> <p><b>&lt;連携校を巻き込む工夫&gt;</b> ・探究学習研究協議会を開催し、コンソーシアム構築についての説明や質疑応答を実施</p> <p><b>&lt;連携校以外を巻き込む工夫&gt;</b> ・沼津市立沼津高等学校は、オブザーバー校として探究学習研究協議会等に参加</p>
産業能率大学	沼津市、裾野市、御殿場市役所（予定）										
株)イノベスト	清水町、小山町、長泉町役場（予定）										
県社会教育課 (依頼中)	沼津商工会議所 (依頼中)										
社会教育課 (依頼中)	東北芸術工科大学 (予定)										
東部地域局 (依頼中)	国立音楽大学 (予定)										

<b>【課題】</b>	<b>【今後の重点取組】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度を目指としたコンソーシアムの発足</li> <li>・コンソーシアム構成員や協力者（センター）の拡大</li> <li>・コンソーシアム構成員による負担金の予算措置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度内にコンソーシアム構築のための準備会実施</li> <li>・自走できるようなコンソーシアムの規約づくり</li> <li>・依頼中の構成員への参加依頼の説明</li> </ul>

1

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告 実践校：沼津西高等学校

**【事業進捗総括】テーマ：探究学習推進（沼駿地区）**

<b>取組</b>	◆令和6年度 「表現力」の伸長をテーマとした探究活動の展開 ◆令和7年度 探究サイクルの経験回数増加のため、ちょこっとマイプロジェクト(ちょこプロ)を複数回導入
<b>成果</b>	◆令和6年度末 探究活動を通して自らの意見を言葉で表現する力が向上した生徒は63.1%から88.1%に上昇 ◆ちょこプロを導入した1年生で、西高GPのうち「行動力」が伸長したと答える生徒は73.7%

<b>【我が校自慢】</b>	<b>【取組の具体的な内容】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通科と芸術科が協働することで、相互に良い影響を与える学科横断的な探究活動。</li> <li>・1年9月から2年12月まで長期的に取り組むグループによる探究。長期で何度も探究サイクルを経験し、身の周りや地域社会、現代社会の困りごとに対して実際に行動に移すプロジェクト。</li> </ul>	<p><b>&lt;概要&gt;</b> 表現力の伸長をテーマとし、中間発表と学年発表に加えて各时限において、自らの考えを自らの言葉で表現する機会を設けた。令和7年度入学生より導入した「ちょこプロ」では、自分自身に関することを課題とし、1週間課題解決に向けて主体的に行動に移した。また、表現する場として、発表会も実施し、クラスNo.1ちょこプロを選定した。</p> <p><b>&lt;指導上の工夫&gt;</b> ・ポスターセッションは全員が1人で発表するように複数回実施した。 ・ただ行動に移すのではなく、情報収集により根拠のある仮説を設定し計画を立案した。</p>

<b>【課題】</b>	<b>【今後の重点取組】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の表現に対して、批判的思考を活かして質問すること</li> <li>・信頼のおける探究活動への協力者を可視化すること</li> <li>・校内探究とコンソーシアムのプログラムを結びつけること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動で質問力を向上するためのコンテンツづくり</li> <li>・探究活動に協力してくれる人材バンクづくり</li> <li>・コンソーシアムで開発する夏休み探究体験講座の導入</li> </ul>

2

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【目指せ！アントレプレナー】 実践校：御殿場高等学校

**<概要>**  
ソーシャルアントレプレナーシップ  
教育を3年生の「総合的な探究の時間」  
にて推進していく。

**<指導上の工夫>**

- ・地域住民のニーズをヒアリングする  
機会としてのトークフォーカンス開催
- ・市役所や(株)ボーダレスジャパンとの連携



3

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【イングリッシュキャンプ】 実践校：御殿場南高等学校

**<概要>**  
高校生・中学生が英会話を通じて  
英語学習への興味や関心を高め、学  
校間を越えて交流することで、地域  
の活性化や学校の魅力化へつなげる  
ことを目的に、イングリッシュキャンプを開催しました。

**<指導上の工夫>**※詳しくはこちらの御南探究サイトで公開→

- ・中高生が英会話を楽しむ特別なプログラムを企画  
→吉本興業芸人の田畠祐一さんに講師を依頼
- 御殿場高原時之栖さんの協力によるアクティビティを実現



4

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：小山高等学校

**<概要>**

演劇を通じて挑戦と協働を重ね、SDGsの取り組みを探究することにより、「前に踏み出す力」「チームで活動する力」「考え方」を育成する。（取組2年目）

**<指導上の工夫>**

- 1年目の反省を踏まえ、生徒全員が探究の目的を理解し、主体的に取り組めるようにするために、探究の各授業の開始前に各班の班長へ本時の目的及び活動手順等について指導を行っている。

5

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：裾野高等学校

**<概要>**

1年次に外部プログラム「engine」導入、  
2年次に裾野市との地域連携協定により  
市役所職員はじめとする地域の方と共に新たなアクションプランを考案。

**<指導上の工夫>**

- 4月当初に裾野市副市長が「裾野から頂へ」テーマに講話。
- 5月に産業能率大学教授を講師に「課題設定プログラム」を実施。
- 裾野市担当部署から市の施策等の説明を受け、探究テーマを設定。
- 生徒が直接、裾野市役所に行き、フィールドワーク。中間発表を経て「裾高CUP」にて発表会。

6

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津東高等学校

**<概要>**

**生成AI授業や探究活動に活用するための教職員研修を実施**

**「プロンプト集」を活用した実践を習得し、今後の活用に生かせる研修を行った。**

**<指導上の工夫>**

- ・パソコン室で実際にAI活用実習を行った。
- ・ペアワークを行い探究の協働場面に取り入れられるようにした。



7

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津城北高等学校

**<概要>**

いざれも「しずおか共育ネット」の方をお招きし、以下の実践を行う。

- ・1年生職業インタビュー学年発表会での講評と効果的なプレゼンテーションの方法のアドバイス。
- ・2年生探究のグループワークにおけるリサーチクエスチョンの伴走指導。
- ・3年生探究発表会における講評(右上写真参照。手前背広の方が講評者)。

**<指導上の工夫>**

外部人材の視点を取り入れることで、教員のみではカバーしきれない指導を可能とし、生徒の探究活動に幅と深みを持たせるようにした。



8

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津工業高等学校

**<概要>**

【電子ロボット科】三島市内の事業所と共同開催する「ものづくり教室」において、児童生徒への3Dプリンタ等の体験を支援する。

【建築科】「ものづくり」を通した探究活動に生かすための技能や知識を学ぶために、地域から専門家を招き特別講義を実施する。

**<指導上の工夫>**

- 生徒にとって、これまで学んできたことを生かしながら、よりよい方策を探求し表現する姿勢を育むための活動となるよう留意する。



9

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【事業進捗総括】テーマ：探究学習推進（沼駿地区）

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津工業高等学校

**<概要>**

【電子ロボット科】三島市内の事業所と共同開催する「ものづくり教室」において、児童生徒への3Dプリンタ等の体験を支援する。

【建築科】「ものづくり」を通した探究活動に生かすための技能や知識を学ぶために、地域から専門家を招き特別講義を実施する。

**<指導上の工夫>**

- 生徒にとって、これまで学んできたことを生かしながら、よりよい方策を探求し表現する姿勢を育むための活動となるよう留意する。

**<多様な連携>**

- 生徒現場見学
- 測量実習指導 ⇒ 沼津建設業協会
- 電気科実地指導 ⇒ 関東電気保安協会
- サントムーン柿田川 LUCKY FESTA
- こども夏だいがく  
ものづくりワークショップ  
⇒ 丸善工業、木村鉄造所




**〈工業科「課題研究」科目の目標〉**

(2) 工業に関する課題を発見し、工業に携わる者として独創的に解決策を探求し、科学的な根拠に基づき創造的に解決する力を養う。  
(「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」[工業編]より)

**〈令和7年度 3年生「課題研究」テーマ〉**

**【機械科】**

- ・人力セグウェイ
- ・アシストスーツ
- ・EV工コランカー製作
- ・朝礼台の作成 ほか

**【電気科】**

- ・配電線路の研究
- ・太陽光発電の研究
- ・乾燥機の研究
- ・光通信の研究 ほか

**【電子ロボット科】**

- ・リモコンカーの製作
- ・高校生ロボット競技大会に向けたロボット製作
- ・HEMS (Home Energy Management System) の研究
- ・エスカレーターの構造とシステムについての研究 ほか

**【建築科】**

- ・国立青少年の家のベンチ作り
- ・沼津市ベンチ作り
- ・建築甲子園
- ・室内配線 ほか

**【都市環境工学科】**

- ・レンガ橋
- ・測量
- ・看板作り ほか

10

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津商業高等学校

**<概要>**

日本政策金融公庫が主催する高校生ビジネスプラングランプリに応募。ビジネスプランの作成を通じて、ビジネス（商業）の知見を深め、課題を見つける力、課題を論理的に解決する力を身に付けることを目標としている。

**<指導上の工夫>**

- ・生徒の自由な発想を大切にし、どのようにすればビジネスプランとして通用するのか的確なアドバイスを行う。
- ・自分たちのプランを実現するために、実際に企業や団体等に訪問し、助言をもらうとともに、連携を深めるよう指導している。



11

様式探中4号 「行きたい学校づくり」令和7年度中間報告

【取組の具体的な内容】 実践校：沼津市立沼津高等学校

**<概要>**

**高1：「なぜ働くのか」（商工会の協力）**  
夏休みフィールドワーク→社会課題の解決

**高2：社会課題の解決（海外との比較）**  
⇒ 3月に中高合同発表会（高2運営）

**高3：キャリア探究（Inspire High）**

**<指導上の工夫>**

- ・各学年の創意工夫による探究の実施
- ・中高合同発表会で各学年の非認知能力を育成
- ・中高6年間の一貫した探究目標の策定（現在策定中）



12

# 御殿場高校の探究学習について

## 1 概要

本校の「総合的な探究の時間」は、3年次の「課題研究」で1単位分を代替していることから、残りの2単位分を3年間で履修させている。1、2年次はキャリアに関する授業と防災に関する授業が主だが、3年次に「目指せ！アントレプレナー」という探究学習を設定している。

## 2 連携先

- (1) 御殿場市役所（子育て支援課、長寿福祉課、危機管理課、街づくり推進課、建築住宅課、市民協働課）
- (2) 株式会社ボーダレスジャパン（福岡に拠点を置くソーシャルビジネスベンチャー）  
※予算 30万円（行きたい学校づくり 10万、日教弘 10万、はごろも残り 10万）
- (3) CIVIC PRIDE GOTEMBA（市民団体）

## 3 スケジュール

- 6月 トークフォーカダンス（CIVIC PRIDE GOTEMBA と共催）  
9月 目指せ！アントレプレナー開始  
11月 中間発表（ボーダレスジャパン所属の起業家によるアドバイス）  
1月 成果発表（御殿場市長、御殿場市役所各部署、ボーダレスジャパンが参観）  
2月 代表グループによる校内発表会（科目研究発表会と同時開催）

## 4 内容

工業、商業、家庭の三科混合で4～6人のグループを組み、「子育て」「高齢者」「防災」「空き家対策」「駅前活用（きょんぱ）」の5つのテーマから一つを選んで、市役所から提供してもらった課題を社会課題として深掘りし、ビジネスプランにつなげるという活動。

## 5 課題

- (1) 持続可能な予算を確保できない。
- (2) 3年部職員の負担が大きい。
- (3) 3年生の後半での活動のため、学習の効果が見えにくい。



トークフォーカダンス



中間発表



昨年度の成果発表（市長）

2025年

(令和7年)

7月16日

水曜日

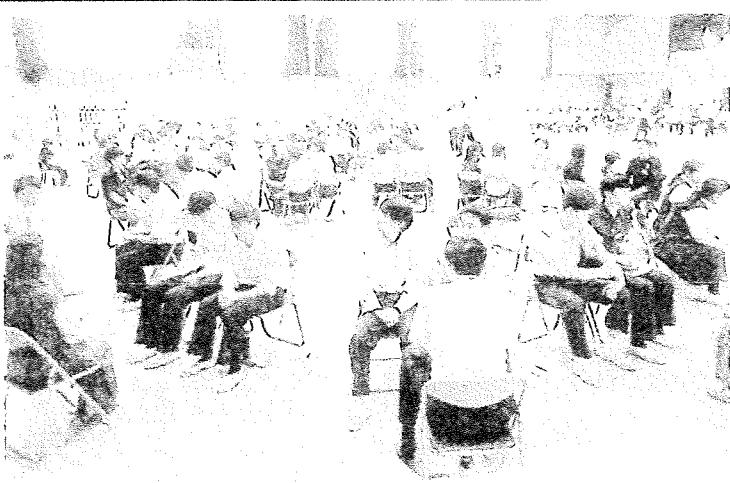
# 静岡新聞

〒422-8033  
静岡市駿河区登呂3-1-1

静岡新聞社  
電話0570-050-217  
(静岡新聞SBSお客様センター)

月決め3,300円(本体価格3,056円)  
1部140円(税込み)

©静岡新聞社2025  
浜松総局 浜松市中央区旭町11-1  
プレスター内  
東部総局 沼津市魚町1  
サンフロント内



## 御殿場高生 住民と会話弾む

御殿場市の御殿場高と市民団体「シビックプライド御殿場」は14日、フォークダンスのように円形になつて相手を変えながら会話を楽しむ「トーカフォーケダンス」を同校で開いた。3年生と地域住民らが世代を超えて「テーマに沿ってぎくばらんに意見交換した。

生徒110人と地元の市議や市役所、消防、警察、企業関係者ら62人が参加した。生徒2人と一般参加の1人がペアとなり、「なぜ若い力が重要なのか」「将

### 男女共同参画など意見交換

御殿場市の御殿場高と市

民団体「シビックプライド御殿場」は14日、フォークダンスのように円形になつて相手を変えながら会話を楽しむ「トーカフォーケダンス」を同校で開いた。3年生と地域住民らが世代を超えて「テーマに沿ってぎくばらんに意見交換した。

生徒110人と地元の市議や市役所、消防、警察、企業関係者ら62人が参加した。生徒2人と一般参加の1人がペアとなり、「なぜ若い力が重要なのか」「将

7月16日

ビジネスの4項目のうち、興味のあるテーマを深く話し合う時間も設けられた。

トーカフォーケダンスは若者の価値観を広げるとともに、都心部に人口が流出する中で、地元の大人と触れ合って地域愛を深めてもらおうと企画された。本年度の市民協働型まちづくり補助金事業に採択された。(御殿場支局・塙谷将広)

「どうすれば男女ともに活躍できる社会に近づくか」などのテーマで話した。生徒からは「将来は子どもを育てたいが、責任や負担が心配」「人口構造の逆三角形は自分たちの首を絞める」などと等身大の意見が出た。一般参加者は自身の経験や職業観を背景に、多彩な助言を送った。

一定時間」として隣席に移つてペアを変え、交流機会を増やした。結婚・恋愛、勉強・進学、海外・都会、巨大な田を作り、会話を楽しむ生徒と地域住民が御殿場高生と地域住民と会話弾む

7月16日

9



## 小山町 小山高校に町費を求める

小山町の込山正秀町長は1日、県庁に鈴木康友知事を訪れ、施策と予算の要望を行った。〔写真〕。要望は

小山高校の魅力化事業「5項目。冒頭の要望事項は

立小山高校の町支援新体制の構築」。富士山開山日の統一、県道拡張事業、住宅耐震化事業等が続いた。

小山高校の魅力化について込山町長は「県立高校の教育内容に口も出すけど町費も出す」との主旨を伝え

「県と町の緊密な連携・協力体制を通じて、選ばれる小山高校にしたい」と強調。

同町ではモータースポーツでのインバウンド客数の増加とハイアット社等の外資観光産業の参入に加え、ノルウェー・プロキシマー社

のサーモン陸上養殖等の新産業の参入が始まり、町の政策として英語力と国際感覚を兼ね備えた人材育成と雇用創出に取り組みたい考えがある。このため町長は、「小山高校へ国際バカロレ

ア教育を導入したい。この方向付けを強く県教委に

言つてほしい」と求めた。

また同町では、新東名高速道路の整備が進み、さらなる交流人口の拡大による地域活性化も狙っている。このため町は、起業家精神を有する人材を育成したい考

えがあり、町長は「町費負担で探究コードィネーターを小山高校に配置したい」と提案。これに対して知事からは具体的な発言はないが、かつたが、真剣な面持ちで聞き入っていた。

町長ら幹部はこの後、県教委を訪れて要望。池上重弘教育長は「旗印が明確な戦略は大事だと思う」と前向きに応じた。小野田秀生教育監は「バカロレアという方法の他に、英語に特化した教育課程を導入する方法もある」と別案を提示。

発表学校	フィードバック
沼津西	年度を跨いだグループでの探究という視点はなかったため、本校でも探究担当者間で情報共有をしたいと思います。
沼津西	普通科と芸術科が横断的に探究活動をしている点が非常に良いと感じました。 年度をまたいで活動をするという計画ですが、その際のチーム編成はずっと同じなのでしょうか？
沼津西	自らの意見を言葉で表現する力が向上したなど、指標があり明確で良いと思う。
沼津西	一つのプロジェクトを長期間で行うことが興味深かったです。探究の過程でどのように新たな問い合わせが生まれてくるか楽しみです。
沼津西	明確なテーマを決めた取り組みはとても良いと思います。変容も図りやすいのではないかと思いました。
沼津西	芸術科と普通科のコラボ非常に魅力を感じました。質疑にあったように、普通科の強み(それが発想力や企画力であれば現状の通り)を生徒自らが自覚し、芸術科に還元できる時間があるとさらに良いと感じました。
沼津西	質問させていただいたとおりです。また、指導上の工夫で全員がひとりで発表できる機会を確保している点は、フリーライドを避ける意味でも重要だと思います。
沼津西	普通科と芸術科が有機的につなるのは、西高にしかできないことですばらしいな、と思っています。うまくつながったいい例を他にも知りたいです。
沼津西	芸術科との連携は、アイディアが形になるという点で、良い取り組みだと思います
沼津西	長期的な取り組みは、大変興味深いのですが、探究を進める中で、グループなどを再編成するような余地はあるのでしょうか？
沼津西	探究を深める中で、学校外に飛び出す機会があるといいなと思いました。
御殿場	科目横断的なアプローチが良いと思いました。

御殿場	学科を越えての取り組みは、新しい視点もあり、生徒たちにとっても有益だと思います
御殿場	科目横断的な取り組みが良いなと思いました。
御殿場	各科混合のグループということで、生徒同士の対話が生まれやすい環境だと感じました。
御殿場	「アントレプレナーシップ」という語句の意味をきちんと理解したうえで、生徒・教員が活動するのは難しいのではないかと思いました。
御殿場	支援企業であるボーダーレスジャパンにとって、どのようなインセンティブがあって参加されているのか知りたいと思いました。
御殿場	トークフォーカダンスいいと思いました。本校での実施を考えたときに、市民の方たちが集まるかどうか不安なのですが、実際に市民に呼びかけると集まってくれるものですか？
御殿場	専門、総合の場合、コース毎のグループ編成になるイメージだったので、混合編成は斬新だと思いました。良い相乗効果が生じるのではないかと考えます。
御殿場	3年生で形にすることが難しいと思いますが、継続的に課題に取り組み、解決するところまで行えると良いと感じました。
御殿場	課題に対して、年度や生徒が変わっても継続して探究ができると生徒の目的意識なども高められて良いと思いました。それらの実現にあたり、探究の企画推進者が学年に置かれているのか、学校に置かれているのか、それによって変わるところもあると思いました。
御殿場	トークフォーカダンスを実施する市民団体があることをはじめ知りました。教員数が減少する中で効果的だと感じました。
御殿場	三科混合によるグループ編成については、何かルールが、ありますか？人数の割合など。
小山	生徒を主体的に活動してもらうために、教員がどのようなアプローチをしていっているのかが気になりました。生徒が大人のサポートなく「主体的」に自走できたら本当は理想的ですが。
小山	演劇の試みは面白いと感じました。小山高の場合、町が全面的にバックアップしている体制が心強いと思います。

小山	演劇、個人的にはユニークでいいと思います。もともとはなぜ演劇をやろうということになったか、もしわかれれば教えていただきたいです。
小山	演劇という手法はおもしろいと思いました。来年度以降は、発表の一部に取り入れるなどしてみてもいいのかと思いました
小山	探究コーディネーターをどのように活用できるのか知りたい。
小山	演劇という表現方法、非常に興味があります。 演劇が生み出す効果など、表現方法が演劇であることの必要性を生徒が考える機会がどの程度設置されているのか気になりました。
小山	表現方法として演劇という手法を取るのは面白い試みだと思います。課題が多いようですが、是非、頑張ってください。
小山	小山町との連携を意識した課題になると特色がでると感じました
小山	SDGsについて質問させていただきました。演繹的に考えると、自分事としてとらえるのが難しいかもしれません。帰納的に考えることで、他にも同じ課題で困っている地域に気づけるかもしれません。
小山	演劇の発表の場は、どう設定されているのでしょうか？見せる人を設定することで、劇のテーマの設定の一助となるかもしれません。
裾野	教員の研修を繰り返し行うことを参考にしていきたいと思います。
裾野	探究というもの、そのものを掘り下げる試みに感じ入りました。エンジンという考え方のポジティブさは、生徒の活動に好影響を与えると思います。
裾野	強みを生かす、伸ばす視点は、確かに大切だと思いました。
裾野	20年後の自身の進路分野について考えることは、生徒がテーマを身近に感じやすく、介入していく足掛かりになると感じました。進路教育との関係が重要になると思いますが、生徒の進路設定はどの時期を目処に行なっているのでしょうか。なかなか進路が定まらない生徒も多いため気になりました。
裾野	地域探究コース「エンジン」について知りたい。

裾野	教師の伴走や、生徒がまちの良い面をなかなかみてくれないなどが本校でも課題になっているので、参考になりました。ありがとうございます。
裾野	良いところを伸ばす可能性拡張型という考え方と共感しました。
裾野	毎年、教員研修を繰り返す仕組みを年間計画に組み込んでいる取組が参考になりました。
裾野	探究プログラムの授業デザインに注目するのではなく、やはりまずは教員がチーム内で探究についてマインドセットしていく必要性を改めて感じました。
裾野	engineについて質問させていただきました。「仕組み」としてカリキュラムを構築されていることに感銘を受けました。
裾野	外部プログラムを導入する場合、どの程度学校に合わせた自由度が保証されますか？学校に合わせたプログラムの組み替えなどができると使い勝手もいいですね。
沼津城北	外部人材の導入は様々な視点が取り入れられるのすばらしいと思います。 構成を考える教員の負担は大きいですか？
沼津城北	外部連携は、教員の減少に対応するためにも、良い取り組みだと思います
沼津城北	進路決定だけでなく、自分が進もうとする方面についての探究まで視野が広がると面白いと思いました。
沼津城北	外部の講師を招き、生徒の発表に対しフィードバックが適切に用意されてる点が印象的でした。1年生のインタビューに関する学習について、事前学習を発表後に事後学習として振り返り、地域への関心の変化などについては追及されていますか。
沼津城北	1、2年次の取組が大切だと思う。
沼津城北	教員が少なくなる中、外部の力を上手く活用している点が参考になりました。
沼津城北	外部人材によるアドバイスをもらい、それがキャリアにつながっているということ、すばらしいと思いました。本校もそうなるとよいと思っているので、参考になりました。

沼津城北	本校では外部連携ができるおらず、生徒の発表に緊張感がないため、外部の大人によるフィードバックという山場を設けた探究デザインをしていきたいと感じました。
沼津城北	教育ネットとの連携が、生徒の力の伸長に繋がっている点が魅力的だった。
沼津城北	教員数が少ない中、外部にコーディネートしてもらうことが有効だと感じました。
沼津城北	しづおか共育ネットのサポートは手厚いと思いますが、本気の探究活動につながった例があったか知りたいと思いました。
沼津工業	学校内で学んだことを外に出て表現する機会を多く企画している点がすばらしいと思います。
沼津工業	各科の連携は、違う視点からの考察もでき、良いと思います。
沼津工業	科ごとの特色が強く、なかなかコラボも難しいかと思います。課題研究の発表は科ごとに実施されているのでしょうか。異なる科を学ぶこと、異なる科への発表する際に基本用語等の説明を怠らないことなど、違う科と合同で発表することで得られる学びが多くあると思います。
沼津工業	専門高校の強みが發揮され、実践的であるとともに、羨ましく思います。企業のバックアップがあるのも心強いのではと感じました。
沼津工業	科目横断的な活動と外部連携が有効に結びついていることが素晴らしいと思いました。
沼津工業	生徒の興味関心から課題研究が生まれ、就職、総合型、推薦に繋がる良い循環だと感じました。
沼津工業	科の壁を越えた取組ができるといふと思う。
沼津工業	課題研究としての取組が工業高校の強みと感じました。普通科とコラボ出来るとありがたいです。
沼津工業	児童への3Dプリンタ体験支援は興味深いです。生徒と児童のコミュニケーションの様子など知りたいと思いました。個人的には、人力セグウェイが気になります。

沼津工業	工業高校の課題研究は、各課ごとの取り組みにどうしてもなってしまう側面があるかと思います。その中でも、他の科がどのようなことをけんきゅうしているのか、互いに認知する場はどこありますか？
沼津工業	各科でテーマが引き継がれることにより、より深い思考に繋がると感じました。
沼津商業	ビジネスグランプリという外部機関からのフィードバックが入るシステムにより、生徒のモチベーションに繋がると感じました。
沼津商業	外部の活動に参加させる企画が多いように感じました。学校内で完結させる教育活動ではない点がすばらしいと思います。
沼津商業	ビジネスプラングランプリは全員が取り組む形ですか？目標設定にはコンテストなどは、わかりやすくて便利ですね。
沼津商業	自分のプランに対して、必ず学校外に出て調査を行うことを指導している点が素晴らしいと思いました。
沼津商業	専門の強みを生かした実践的な課題研究だと思いました。研究のアイデアが豊富なのもこれまでの学校の積み重ねであろうと感じました。
沼津商業	グランプリ応募が生徒達のモチベーションアップにつながっていると思う。
沼津商業	様々なグランプリに参加を促すことで、生徒の学力以外の力の伸長に繋がると考えました。
沼津商業	ビジネスプランというと、普通高校では持続可能性を意識させるために導入しているところもありますが、貴校では営利的側面が強いのか、社会ビジネス的側面が強いのか、関心があります。
沼津商業	商業高校がどのようにビジネスプランを立てているのか興味があります。普通科で同じことはできませんが参考にしたいです。
市立沼津	多くの教員の学びがあるように、探究担当者の割り振りに工夫されているとの話がありましたが、全ての教員の探究指導力の向上のために、何か実施されていることはありますか。
市立沼津	各学年三名の探求担当、次年度は二名入れ替えというシステムが、深い探究につなげていくことができると感じました。本校では教員間の探究に関する引き継ぎができていないので、参考にさせていただきたいと思います。

市立沼津	3年間及び中学校との接続を考え、よく練られた体系的な計画だと思い感服しました。 教員側のスキルアップにも配慮した計画になっている点も勉強になりました。
市立沼津	中高一貫ならではのすごい強みだと思います。継続した取り組みかより一層深めることができれば、他の学校では真似のできない強みになると思います
市立沼津	中高6年間を見通した探究目標の設定は面白いと思います。活動のなかでも、協働の場面があると面白いと思いました。
市立沼津	シンガポールにおける課題と取り組みは先進的ですから、同国での経験がどのように活かされているかに関心があります。
市立沼津	自分たちのやれる範囲でアクションを行う点に大変共感しました。
市立沼津	「海外との比較」というのは良いと思う。
市立沼津	比較をすることは、総合型や推薦型の大学入試の面接やプレゼンの説得力につながるので、とても良い取組だと思いました。
市立沼津	探究実施の組織的体制がしっかりしている（教員への有機的な浸透という面も含め）と感じました。その部分は本校の大きな課題であり、改めて考える契機となりました。